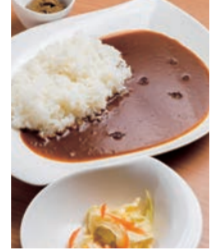


すべてが優雅で上質。カレーも嗜める大人の隠れ家



一日7食限定、3日前までに要予約の「杏具の小箱」、7種類の野菜と海老の素揚げ、れんこんまんじゅう、ヒレカツ、自家製ピクルスのアレンジ、カレールー、ご飯、ほうろ茶アイス、コーヒーマチは紅茶が付いて1,500円(内容は季節によって変わります)。カレー、ご飯はおかわり自由。8名様以上は応相談。ご予算に応じてアレンジ可能

知らなければ通り過ぎそうな普通の瀟灑な住宅。ブルーのドアを開けると夢に出てくる隠れ家を現実にしたような空間が待っています。声をかけてくれるのは2人の女性。お店の優雅な雰囲気しっくり溶け込む言葉と物腰。カレーハウスとうたわれていますが、ここはカレーも嗜める日常から離れた寛ぐためだけにある場所。



カレー好きのオーナーの夢の結晶、スタンダードな香辛カレー、ほうろ茶アイスとピクルスが付けて800円。

「沢山のご意見を頂戴して、お客さまに育てていただけるお店でありたい」と、あくまでもお客さま

オーナーの原田さん(向かって左)と豊富な和食経験をお持ちの中本さん



10名様まで収容できる美しく清々しい和室



角地にあるれんがのお家がお店。看板は小さいので注意を



薪が燃えた後のガス、煙も燃やす2次燃焼式ストーブ。薪は天野山の薪屋さんから調達

光あふれる明るい店内。インテリアの一つひとつが優雅で上品が広がるコミュニティになれば幸いです。おっしゃるオーナー。誰もが生き生きと輝き、地域の豊かな未来を育む場所がまた一つ増えました。

杏具 カレーハウス 杏具
住所: 大阪府大阪狭山市 大野台4-10-5
Tel: 072-366-8585
営業時間: 11:30~19:30(ラストオーダー)
定休日: 第2・4木曜日
駐車場: 3台

1/2 DAY TRIP ユーモアにあふれた言葉でズバリ箴言 布忍神社の「恋みくじ」

ハガキ大の白い紙に記された数行の太い文字。「わたしには華がある。」など心躍るものから「甘い汁は俺が吸う。」「その女と別れる。」「どたんばせとぎわがけつぷ。」などドキッとするような言葉も。おみくじの概念を打ち破るこんなユニークな「恋みくじ」で話題を集める松原市の布忍神社。全国から世代を超えた参詣者が引きも切らず訪れます。「恋みくじ」は寺内成仁宮司が「おみくじを引いても吉凶や数字の縁起に囚われて内容をきちんと読まない方が多い。ならば、吉凶はやめてインパクトのある言葉でお伝えしよう」と1998年に発案。女子高生の携帯メールで一気に評判が広まりました。デザインと文面を担当したのは、文字だけで作品づくりをする現代美術アー



仲良し女子が引いたのは奇しくも同じおみくじ

元彫刻家でもある寺内宮司。境内には宮司のアート作品も



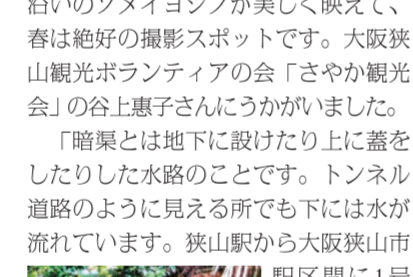
恋みくじは1回200円。原則1回

●布忍神社 松原市北新町2-4-11 Tel:072-334-7634 アクセス:近鉄大阪線「布忍」から徒歩約10分 http://www.onet.ne.jp/nunose/

2018年2月25日 10:00~16:00
ボランティア・市民活動フェスティバル
河内長野市市民交流センター「キックス」
河内長野市市民公益活動支援センター「一ぶらざ」

インスタ映える、ひと味違ったお花見スポットを教えてください

河内長野市内にも多くの桜の名所がありますが、大阪狭山市にある「暗渠」を訪れてみてはいかがでしょうか。レンガ造りの暗渠の上を走る南海電鉄と線路沿いのソメイヨシノが美しく映えて、春は絶好の撮影スポットです。大阪狭山観光ボランティアの会「さやか観光会」の谷上恵子さんにうかがいました。「暗渠とは地下に設けたり上に蓋をしたりした水路のことです。トンネル道路のように見える所でも下には水が流れています。狭山駅から大阪狭山市駅区間に1号~7号まで7つの暗渠があります。明治31年、鉄道を河内長野まで延



「ねじりまんぼ」と呼ばれる珍しいレンガ積み構造の7号暗渠



長した際に、線路の下に道路や水路を通してほしいという地域の人々の要望で造られました。この短い距離に7つの暗渠があり、今も現役と



さやか観光会では希望に応じて随時ガイド実施

暗渠の東側は鉄筋コンクリート構造になっています。7号暗渠は狭山池から流れる東除川を通す目的で造られたもので、線路に対して斜めにアーチをかけるためにレンガをねじって積んだ『ねじりまんぼ』と呼ばれる非常に珍しい構造物です。



2号暗渠。北小学校の通学路になっています

●連絡先 さやか観光会 Tel:080-4398-3987
質問を募集しています! 「ここになぜこんなものが?」「この由来は?」など、街の中でふと感じたクエスチョンをお寄せください。あなたに代わってお調べします。応募先は欄外の宛先へハガキまたはFAXにて受付いたします。

ガス機器をお使いいただく際のご注意
キッチンで ガスコンロや小型湯沸かし器をお使いの際には、必ず換気扇を回すか、窓を開けて換気をお願いします。また、ご使用中に火が消えたりする症状が出た場合には、当社もしくはご購入された販売店まで点検修理のお申込みをお願いします。
お部屋で ガス暖房機をお使いの際には、1時間に1~2回程度、窓を開けて新鮮な空気を入れ替えてください。

町並みに溶け込む「和の心」を届けたい



Profile 箱田勝彦(はこだかつひこ)さん・千鶴(ちづる)さん プロフィール
勝彦さんは1952年松原市生まれ。サラリーマンを経て1997年「箱田商店」を創業。千鶴さんは1964年長崎県五島列島生まれ、大阪育ち。専業主婦を経て2013年「大正紹漫」店主、着物着付け師範。2人の娘さんと寺内町に在住。

江戸時代以前からの町並みが広く残る富田林・寺内町。ここで着物地や和柄の生地で作ったエプロンや和雑貨を販売する箱田商店『大正紹漫』。メインストリートの城之門筋と一里山町の北東角に建つ古民家の扉をくぐると、ノスタルジックで大人かわいい和の世界が広がります。

「和雑貨を扱う店舗を出したい」と思ってた松原市で、寺内町を訪れた千鶴さん。古く町並みを残しながら今なお人々が暮らしている。すごいと思いました。松原市で日本の伝統柄・和柄の生地を使ったエプロンの製造業をしていた箱田勝彦さん千鶴さんが、寺内町に転居して直営店「大正紹漫」をオープンしたのは4年前。昨年9月には南会所町の集合店舗から住まいごと築120年の「小田家住宅」に移りました。小田家住宅は敷地に蔵もある明治期の建物。居間や奥の座敷には家主さんから借り受けた年代物のタンスや掛け軸が置かれ、商品とじっくり調和しています。人気商品はエプロンのほか、千鶴さんがその端切れや着物地で作ったフクロウやオオサンショウウオなどのかわいい和雑貨。一母親の苦労が無いようにと胸元に「不苦勞(ふくろう)チ」を付けたエプロンは、創業以来のロングラン商品です。大正紹漫の売りはグッズだけではなく、二人は転居後まもなく「歴史のあるこの町の良い所を伝えたい」とボランティアガイドに所属し、地域の人の出会いをきっかけに着物を切り口にした独自のサービスを展開しました。たとえば着物姿で町を歩いたり、その思いから生まれた着物レンタルと着付けサービス。2015年から「大阪ではいちばん着物が似合う町」をテーマに寺内町の女性店主



「日本の道百選」に選ばれた寺内町のメインストリート城之門筋

箱田商店「大正紹漫」富田林市富田林町24-4 Tel:0721-51-4411 木金土日オープン(10:00~16:00)
「次はどんな出会いがあるか、ワクワクが止まりません」と話す勝彦さんと千鶴さん。町並みに調和する「和の心」が地域を盛り上げ、店のファンを増やします。
「次はどんな出会いがあるか、ワクワクが止まりません」と話す勝彦さんと千鶴さん。町並みに調和する「和の心」が地域を盛り上げ、店のファンを増やします。

大正紹漫 春のワクワク企画
「手ぶらdeキモノ」(通年)
小物や草履まで一式をセットにした「手ぶらdeキモノコース」(3000円)と着物持参の「myキモノコース」(2000円)。予約制。
2月10日(土)「春の寺内町めぐり」
訪問着などを着てドレスコードでコースをめぐります。親子で申し込む人も。
2月25日(日)「第6回 寺内町ろまん亭落語会」
笑福亭鉄瓶を迎えて。14時開演。(1000円)
3月24日(土)「日本の婚礼衣装体験会」
婚礼衣装の色無垢を着てみませんか。年齢に関係なくどなたでもOKです。

ホンモノはどれ?
7 4 1
8 5 2
9 6 3
応募方法
ホンモノの答え、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、本誌の感想要望などを明記の上、欄外の宛先「ホンモノはどれ?」係へハガキ、またはファックスでご応募ください。
※2月末日替換 消印有効。
※当選発表は発送をもってかえさせていただきます。(No.280の正解は⑥でした)
正解の方から抽選で図書カード(2000円)を5名の方にプレゼントします。

とある休日
河内長野ガス 福井 泰裕
11月の下旬、家族5人で天王寺動物園へ行きました。自分が小さいころの天王寺動物園といえば、動物が檻に入れているのを見るスタイルで、なんとなく窮屈な感じがしていましたが、久しぶりに訪れた動物園は自然の中にいるようなイメージで動物たちの躍動感が感じられました。天王寺動物園はふと見上げると、動物たちとアペノハルカスが一緒に見えるポイントがあり、自然の中に近代的な建物がある不思議な感じになる場所が私のオススメでした。
子供たちも大興奮で、到着するなり、「キリンさん、ライオンさん、コアラさん、どこー!？」と走り回り、園内を全力疾走で、満足げに楽しんでいました。
風も強く寒いのに、走り回った後アイスクリームを食べている、元気な子供たちに癒された休日でした。
天王寺動物園はふと見上げると、動物たちとアペノハルカスが一緒に見えるポイントがあり、自然の中に近代的な建物がある不思議な感じになる場所が私のオススメです。